

地域おこし協力隊としての3年間の活動の中で訪れた生産者や事業者は100件以上



地域おこし協力隊に着任し、小野さんが最初にしたのは地域の事業者や生産者を訪問し、地域にあるものを知ることでした。この活動の中で老舗のお茶屋のパッケージデザインを任せられたり、ハスの織物を作る生産者と共に織物のブランディングを行う機会をもらえるようになりました。自分を頼ってくれ、意見を真摯

に受け止めてもらえるようになった経験から、岩国に帰ってきたことにも意味があるのかもしれないと思うようになったと話します。

こうした活動を通じて小野さんにはある思いが生まれます。「岩国に住む人に、岩国にある良いものをもっと知ってほしい」その思いから3年間の活動の集大成として岩国りんこんや岸根ぐりなど地元の9種類の特産品をPRする岩国ブランドブックと岩国ブランドカードの作製を企画しました。

「市内の人が読むことを意識しました。特産品の見えない部分も知ってもらいたくて、あまり知られていないエピソードを盛り込みました」と楽しそうに話す小野さん。

多くの人や物との出会いから生まれた岩国ブランドブックやブランドカードには、小野さんの岩国への深い愛情がぎゅっと詰め込まれています。



ブランドブックやブランドカードは観光交流所や飲食店などで無料配布している



ブランドブックに載せる料理や撮影もすべて自分で行った

「自分の住む町のファンになってもいい。まずは住んでいる人がこの町にある良いものを知って、それぞれの生活のプラスアルファにしてほしいんです」そう話すのは3月まで岩国市地域おこし協力隊として活動し、岩国ブランドブックと岩国ブランドカードを作製した小野綾香さんです。

岩国出身の小野さんは、大学進学

のため関東へ。卒業後は演劇に関わる仕事に就き、充実した毎日を送っていました。それでもいつかは地元に戻りたいと考えていたと言います。

そんな時に参加したイベントで岩国市が新たな特産品開発などに取り組む、地域おこし協力隊を募集していることを知ります。「何か面白いことができそう」そう思って応募を決めました。

# すま いる

## 自分の住む町の ファンになりませんか

Vol.145

小野 綾香さん  
(牛野谷町在住)

東京からUターンし、2018年8月から2021年3月まで、地域おこし協力隊として活動。着任中は市の魅力ある特産品の地域ブランド化に向け、商品開発などに取り組んだ。

日々意識していることは遊び心を忘れないこと。

